

平成 26 年 10 月 14 日

資源 エネルギー 庁

## 陸上自衛隊東北方面隊との間で、危機時の石油輸送協力体制を強化します

～陸上自衛隊との今年2度目の合同実働訓練を実施・全国展開へ～

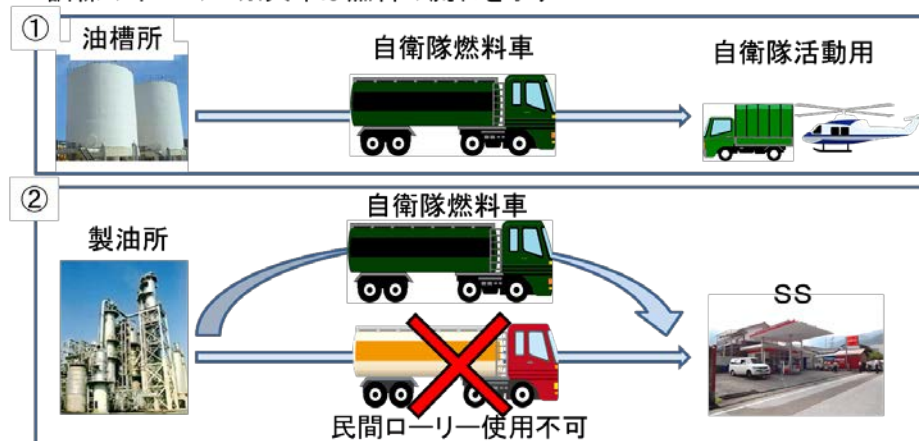
資源エネルギー庁と東北経済産業局は、広域・大規模災害に備え、①人命救助等を行う自衛隊への石油供給の円滑化と、②自衛隊による民生用石油輸送協力の体制強化に向けた合同実働訓練を、製油所(JX 日鉱日石エネルギー(株)仙台製油所)、油槽所(出光興産(株)塩釜油槽所)、SS(丸山(株)亘理中央給油所)の協力を得て、11月7日(金)に陸上自衛隊の「方面隊震災対処訓練(みちのくアラート 2014)」と「津波防災の日」訓練の一環として実施します。

### 1. 背景とねらい

2011年3月の東日本大震災時には、石油の輸送が困難になり、給油が困難となる地域も多数発生しました。そうした中、資源エネルギー庁からの要請に基づき、自衛隊がドラム缶に詰めた軽油等を被災地へと搬送し、民生用石油供給を支援しましたが、その際に様々な調整事項が発生しました。一方、こうした石油供給インフラの被災が、自衛隊の人命救助活動に必要な燃料確保に影響を与える可能性もあらためて認識されました。

こうした経験を踏まえ、資源エネルギー庁と防衛省では、本年6月、防衛省の「平成26年度自衛隊統合防災演習(26JXR)」の一環として、緊急時の石油輸送円滑化に向けた初めての合同訓練を実施しました。これに引き続き、より一層の協力推進のため、東北経済産業局と陸上自衛隊東北方面隊は、「方面隊震災対処訓練(みちのくアラート 2014)」と「津波防災の日」訓練の一環として合同訓練を実施することとしました。

訓練のイメージ ※矢印は燃料の流れを示す



## 2. 訓練の概要

宮城県沖の地震・津波発生を想定し、11月7日(金)に宮城県内の製油所等(JX日鉱日石エネルギー(株)仙台製油所、出光興産(株)塩釜油槽所、丸山(株)亘理中央給油所)を利用し、訓練を実施します。

具体的には、①発災当初における自衛隊の活動に必要な燃料の急激な所要増大を想定し、民間油槽所において自衛隊燃料タンク車に燃料を供給、②民間燃料供給拠点において、自衛隊輸送力でなければ輸送する事が出来ない限定的な場面(被害状況により民間ローリーの補給が出来ない場面)を想定し、民間製油所等から孤立した民間燃料供給拠点に自衛隊燃料タンク車での輸送を実施し、緊急時のオペレーションの手順を訓練・確立します。

(※) 自衛隊の燃料タンク車が民間の油槽所、製油所に入るのは、今回の訓練が初の試み

訓練当日、JX日鉱日石エネルギー(株)仙台製油所、出光興産(株)塩釜油槽所、丸山(株)亘理中央給油所での取材が可能です。取材を希望される場合は、東北経済産業局HPの同旨報道発表資料の取材登録票によりご登録ください。

(本発表資料のお問い合わせ先)

資源エネルギー庁石油精製備蓄課長 竹谷

担当者: 浅野、矢田、山崎

電話:03-3501-1511(内線 4651)

03-3501-1993(直通)

(取材登録のお問い合わせ先)

東北経済産業局資源エネルギー環境部資源・燃料課長 石森

担当者: 鈴木、佐々木

電話:022-221-4934(直通)